

No.10

株式会社 池保健板工業

代表取締役

池田 大輔 (第4期生)

事務

池田 真奈美 (第6期生)



創業70年。池田大輔さん、真奈美さん夫婦が父から事業承継した池保健板工業は、屋根板金工事を主力とし、地元酒田に長年貢献してきた老舗企業だ。大輔さんが事業承継してから、太陽光発電や内・外装工事、ドローンによる屋根点検業務等、様々な新しい事業にチャレンジしている。中でも、専用の特殊材料を使い、見た目を石や岩レンガ風におしゃれにデザインした「デザインコンクリート」は大輔さん肝いりの新事業だ。施工方法や材料等は技術を開発した企業に依存するが、出来上がりは施工者のセンスに大きく左右される。「お客様のイメージを形にするのが楽しい。お客様の未来をしっかりとイメージして打合せすると、時には人生観まで共有できることがあるんです。」大輔さんは、「デザインコンクリート」が持つ、共感から生まれる高い付加価値に大きな可能性を感じている。

常識にとらわれない生き方・働き方

建設現場は「男性の職場」というイメージが強い。だが池保健板工業では現場スタッフとして2名の女性を雇用している。また、周りの業者に先駆けて、月2回の土曜日休みも採用するなど、大輔さん曰く、「地方の建設業ではかなり風変わりなアクション」を取っている。だが、新しいことを始めるときはいつも、先代である父と意見が衝突したそう。それでも自社だけではなく業界全体の魅力を底上げしていきたい、という高い志の下、既存の常識にとらわれず、日々挑戦を続けている。

二人三脚

夢や目標に向かって突っ走る大輔さんを支えるのが妻、真奈美さんだ。真奈美さんは金融機関職員おなじみの、FP2級の資格を取得している。代表者の妻として会社の経営を支えるために、金融知識は欠かせないものと考えたからだ。FP取得の経験を活かし、これまで幾つかの補助金申請にチャレンジし、採択を受けてきた。また、お客様に対する提案をより説得力のあるものにするため、色彩検定も取得した。これにより、デザインコンクリート等を提案する際、お客様の人生の在り方から、それに合った色を提案することが出来ているそう。真奈美さんがもたらした、「金融知識」とお客様の人生に色を合わせ



デザインコンクリートを施工する大輔さん

る提案力は池保健板工業の大きな強みになっている。

「楽しい」「楽」ではない

常に前向きな大輔さんも、昔は仕事に対して後ろ向きだったという。だが、当時所属していた青年会議所(JC)で、酒田まつりのシンボル、立て山鉾を復活させるという巨大プロジェクトの委員長を務めた時に考えが変わった。「非常に難しいプロジェクトであり、最初は嫌だったが、やってみると意外と楽しかったし、とにかく達成感が凄かった。この体験はその後の人生観、仕事観に大きな影響を与えた。どうせやるのであれば如何に目の前のことを楽しめるかを考える。」が、大輔さんのポリシーになった。「楽しい」「楽」は違う。目の前のことに常に前向きに取り組む、苦勞して成し遂げるからこそ達成感を味わえ、「楽しい」のだ。

若手経営者塾で得たもの

大輔さんが若手経営者塾に入塾したのは、JCを卒業し、会社でも新しい取組みを始めた頃。新しい繋がりを求めて興味本位で入塾した。そこで、講義の面白さ、境遇を同じくする後継者仲間とのコミュニケーションに魅力を感じ、真奈美さんへ強く入塾を勧めた。「人前で喋るのが苦手だったのに、初日の講義で平尾先生から当てられて発言することになったんです。」真奈美さんは当時は振り返った。それでも平尾塾長の常に新しいものを取り入れるマインドに魅せられ、次も行ってみたいと感じた。毎回新しい発見があり、気付くと全ての講義に出席していた。そこで得た字びをSNSでの発信に活かすなど、現在の池保健板工業のブランディングに大きく貢献している。

新しいチャレンジ

職人としてお客様の想いを「表現していく」ことを仕事にしたい。そう願う大輔さんの今後の目標は、会社の売上構成の内、元請の比率を上げていくことだ。顧客と直接打合せして、求めるものを汲み取り、全力を注いで形にする。上手くない時のお客様の「ありがたう」は何ものにも代えがたいと大輔さんは語る。この達成感をより多くのスタッフに経験させたい。大輔さん流の人材育成だ。そして、そんなチャレンジには真奈美さんのサポートが欠かせない。夢や目標に向けて邁進する夫と、それを支える妻。これからも二人三脚でお客様の想いを具現化し、庄内に新しい価値を創造し続けてもらいたい。

有限会社 池保健板工業

住所/酒田市大宮町二丁目3-17

電話/0234-26-4140

Mail/moguwai0308@gmail.com



つなぐ力で100年 幸せな街づくり

鶴岡信用金庫

<https://www.tsuruoka-sk.jp/>